

表2 6次申請 設工認に記載のシャッターに関する記載一覧 (3/3)

ページ	図表番号等	タイトル	記載表現	軽微変更後の表現	備考
4734	表1-6	建物の各部位の有する安全機能（附属建物第1廃棄物処理所）（1/4）	部位の欄 シャッター 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	部位の欄 シャッター 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	-
4737	表1-6	建物の各部位の有する安全機能（附属建物第1廃棄物処理所）（4/4）	部位の欄 シャッター 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 [ ]	部位の欄 シャッター 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 [ ]	-
4745	表1-8	建物の各部位の有する安全機能（附属建物第3廃棄物倉庫）	部位の欄 鉄扉(SD-90) シャッター(SS-89) 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 鉄扉：[ ] シャッター：[ ]	部位の欄 鉄扉(SD-90) シャッター(SS-89) 材質の欄（上記と対応させて記載） [ ] 主な寸法の欄（上記と対応させて記載） 鉄扉：[ ] シャッター：[ ]	-
4754	表1-11	建物の各部位の有する安全機能（工場棟転換工場）（7/7）	部位の欄 シャッター(SS-70) 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 [ ]	部位の欄 シャッター(SS-70) 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 [ ]	-
4755	表1-12	表1-12 建物の各部位の仕様表（工場棟組立工場）（1/2）	部位の欄 シャッター（1基） 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	部位の欄 シャッター（1基） 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	-
4755	表1-12	表1-12 建物の各部位の仕様表（工場棟組立工場）（1/2）	部位の欄 シャッター（6基） 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	部位の欄 シャッター（6基） 材質の欄 [ ] 主な寸法の欄 [ ]	-
4758	表1-14	建物の各部位の有する安全機能（附属建物除染室・分析室）（1/2）	部位の欄 シャッター(内側) 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 シャッター：[ ]	部位の欄 シャッター(内側) 材質の欄 シャッター：[ ] 主な寸法の欄 シャッター：[ ]	-
5248	添付説明書 - 建5	外部火災・爆発による損傷防止に関する説明書（基本方針書）	7行目に記載あり 鉄扉、シャッター [ ]	7行目に記載あり 鉄扉 [ ]、シャッター [ ]	-

表-3 (1/3) シャッタのスラット材に関する適合性評価に対する影響評価

技術基準	設計番号 (表イ建-1 工場棟転換工場仕様表より抜粋)	評価
核燃料物質の臨界防止	— (該当なし)	— (核燃料を保持しておらず、臨界防止にも用いられていないことから影響ない)
安全機能を有する施設の地盤	[5.1-建 1] 安全機能を有する施設を設置する建物・構築物は、自重及び通常時の荷重等に加え、耐震重要度分類の各分類に応じて算定する地震力が作用した場合においても、十分な支持性能を有する地盤に設置する。	— (十分な地盤上に設置した建物に取り付けるため問題ない)
地震による損傷の防止	[5.2.1-建 5] ・一次設計 ・建築基準法施行令第八十八条に規定される係数と耐震重要度分類第 1 類の割増し係数(1.5)を乗じて算出した地震力(0.3G)を与えた場合の構造体を構成する各部の応力が基準等に定められた許容応力以下となる構造とする。 ・二次設計 ・建築基準法施行令第八十二条の三に規定される係数と耐震重要度分類第 1 類の割増し係数(1.5)を乗じて算出した地震力(1.5G)から求められる必要保有水平耐力を、建物全体の保有水平耐力が上回る構造とする。	シャッタに関する耐震評価としては、建物の質量の一部として考慮されている。なお、今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。
津波による損傷の防止	[5.3-建 1] 事業許可に記載のとおり、基準津波の最大遡上高さ 12.3m と比べて十分高い海拔約 30m~32m の高台に立地している。	— (立地上問題ない)
外部からの衝撃による損傷の防止 (竜巻) (F1 竜巻)  (洪水)  (凍結) (降水)  (積雪)  (落雷) (地滑り)	[5.4.1-建 1] (竜巻) ・F1 竜巻(最大風速 49m/s)の風圧力及び気圧差により建物に作用する水平方向の竜巻荷重に対し、工場棟転換工場本体及び前室の保有水平耐力が上回る構造とする。 ・工場棟転換工場本体及び前室の各部に対して、短期許容荷重が、上記 F1 竜巻の風圧力及び気圧差により作用する竜巻荷重を上回る構造とする。 [5.4.1-建 2] (洪水) 事業許可に記載のとおり、北方約 2.5km 離れた低地を流れる久慈川の氾濫の影響のおそれのない海拔約 30m~32m の高台に立地している — (該当なし) [5.4.1-建 4] (降水) 降水時に建物内への雨水の流入を防止する。 ・鉄扉及びシャッタの外側に勾配を設け雨水の流入を防止 [5.4.1-建 5] (積雪) 茨城県建築基準法等施行細則第 16 条の 4 に基づき、建物全体が積雪 30cm の短期荷重に対し屋根の耐荷重が上回ること、また、屋根は約 60cm 相当の積雪に耐える実力を有することを確認した。 — (該当なし) [5.4.1-建 6] (地滑り) 事業許可に記載のとおり、東海村洪水・土砂災害ハザードマップに基づく土砂災害の発生のない場所に立地している。	シャッタを構成する構造部材すべてを考慮し、シャッタの許容風圧力を求めている。この許容風圧力と評価上作用する風圧力の検定比を求めている。 評価上、シャッタの部材はすべて考慮されており、今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、スラット部の強度は評価に用いられていることから、安全機能への影響はない。 — (立地上問題ない)  — (凍結による影響はない) — (降水による直接の影響はない)  積雪荷重を直接受けない。今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、内部への雪の侵入を防護する機能に対して影響はない。  — (落雷の影響はない) — (立地上問題ない)



表-3 (2/3) シャッタのスラット材に関する適合性評価に対する影響評価

技術基準	設計番号 (表イ建-1 工場棟転換工場仕様表より抜粋)	評価
外部からの衝撃による損傷の防止 (火山の影響)	[5. 4. 1-建 7] (火山の影響) 表イ建-2 に示す工場棟転換工場の折板屋根は、降下火砕物(湿潤密度 1. 2g/cm <sup>3</sup> )で約 10cm(約 60cm の積雪に相当)の短期荷重に対し屋根の耐荷重が上回る構造としている。	火山灰荷重を直接受けない。今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、内部への火山灰の侵入を防護する機能に対して影響はない。
(生物学的事象) (森林火災)	— (該当なし) [5. 4. 1-建 9] (森林火災) 事業許可に記載のとおり、加工施設から最も近い雑木林まで約 400m 以上の隔離距離があり森林火災の影響のおそれのない場所に立地している。	— (生物学的事象による影響はない) — (立地上問題ない)
(航空機落下に伴う火災)	[5. 4. 2-建 1] (航空機落下に伴う火災) また、航空機落下に伴う火災が発生したとしても、建物内部の設備に影響しないように外壁の損傷を防止する	シャッタのスラット部に対する火災評価上問題ないことを確認している。なお、今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。
(外部火災・爆発、有毒ガス)	[5. 4. 2-建 2] (外部火災・爆発、有毒ガス) 原子力発電所の外部火災影響評価ガイドに基づいて、敷地内外の火災・爆発に対し、建物外壁から火災・爆発源までの隔離距離を危険距離及び危険限界距離を上回るようにするか、火災・爆発源と外壁の間に影響を遮る障壁を置くようにする。	シャッタのスラット部に対する火災評価上問題ないことを確認している。なお、今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。
(ダムの崩壊)	[5. 4. 2-建3] (ダムの崩壊) 事業許可に記載のとおり、加工施設の北方約2. 5km離れた低地を流れる久慈川上流の竜神ダムの崩壊による浸水のおそれのない海拔約30m~32mの高台に立地している。	— (立地上問題ない)
(船舶の衝突)	[5. 4. 2-建4] (船舶の衝突) 事業許可に記載のとおり、船舶衝突のおそれのない海岸から約6km離れた場所に立地している。	— (立地上問題ない)
人の不法な侵入等の防止	[5. 5. 1-建 1] 以下の方策により、人の不法な侵入を防止する。 ・立入制限区域を設け、所定の出入口以外からの人の立ち入りを禁止する。 ・加工施設の建物は、表イ建-2 に示す主要な構造材、鉄扉(図イ建-9~12、14~17 参照)等の堅牢な障壁を有する。	シャッタは鋼材であり、容易に破壊できないことで人の不法な侵入を防止している。今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。
閉じ込めの機能	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
火災等による損傷の防止	[4. 3-建 1] 建築基準法第二条第九号の三で定める準耐火建築物の工場棟転換工場は、耐火構造又は不燃性材料を使用する。 [4. 3-建 4] 工場棟転換工場各部分は、原子力発電所の内部火災影響評価ガイドに基づいて、等価時間より長い耐火時間を確保する [4. 3-建 5] 火災区域外への延焼防止のため、原子力発電所の内部火災影響評価ガイドを参考に防火壁、防火扉、防火シャッタを設置する。	シャッタのスラット部に対する火災評価上問題ないことを確認している。なお、今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない

表-3 (3/3) シャッタのスラット材に関する適合性評価に対する影響評価

技術基準	設計番号 (表イ建-1 工場棟転換工場仕様表より抜粋)	評価
溢水による損傷の防止	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
安全避難通路等	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
安全機能を有する施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
材料及び構造	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
搬送設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
核燃料物質の貯蔵施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
警報設備等	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
放射線管理施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
廃棄施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
核燃料物質等による汚染の防止	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
遮蔽	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
換気	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
非常用電源設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
通信連絡設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
その他事業許可で求める仕様	<p>[99-建 1] 更なる安全裕度の向上策として、耐震重要度分類第 1 類の工場棟転換工場は、静的地震力 3Ci に対して概ね弾性範囲とする。</p> <p>[99-建 3] 更なる安全裕度の向上策として、F3 竜巻(最大風速 92m/s)に対し、工場棟転換工場本体に竜巻防護ラインを設定する。</p>	<p>静的地震力 3Ci に対しても、耐震評価として、建物の質量の一部として考慮されている。なお今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。</p> <p>F3 竜巻に対しては持たせる必要がある場合は鉄扉に交換していることから、これには該当しない。</p>

## 添付 1

### 4 次申請：軽微変更後の新旧比較表



変更前(令和2年3月27日付原規規発第2003279号にて認可)	変更後	変更理由																		
<p style="text-align: center;">表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(2/7) 耐震性能及び耐竜巻性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">仕様(工事番号及び工事名称)</th> <th style="width: 30%;">対象図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">耐震性能 向上</td> <td>(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強</td> <td>(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">耐竜巻 性能向上</td> <td>(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鋼材: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、シャッター両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、スラット部を示す) 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm</td> <td>(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 第2核燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント②は表へ建-2-1に、除染室・分析室との間のエキスパンションジョイント④は表ト建-2-3に示す。</p>	項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面	耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2	耐竜巻 性能向上	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鋼材: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、シャッター両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、スラット部を示す) 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1	<p style="text-align: center;">表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(2/7) 耐震性能及び耐竜巻性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">仕様(工事番号及び工事名称)</th> <th style="width: 30%;">対象図面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">耐震性能 向上</td> <td>(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強</td> <td>(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">耐竜巻 性能向上</td> <td>(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鉄扉鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm シャッターレール部: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> シャッタースラット部: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span>mm</td> <td>(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 第2核燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント②は表へ建-2-1に、除染室・分析室との間のエキスパンションジョイント④は表ト建-2-3に示す。</p>	項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面	耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2	耐竜巻 性能向上	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鉄扉鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm シャッターレール部: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> シャッタースラット部: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1	<p>材料に係る記載内容を適正化するため。なお、スラット材の明確化であり、適合性評価への影響はなく、加工施設の保全上支障のない変更である。</p>
項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面																		
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2																		
	耐竜巻 性能向上	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鋼材: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、シャッター両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、スラット部を示す) 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1																	
項目		仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面																	
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 柱脚部重石補強: 鉄筋コンクリート 鉄筋: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> あと施工アンカー: D16 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板: 板厚(屋外) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 止水シート: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 他 スタッドボルト: 径 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm あと施工アンカー: D13 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19、26~30、32~41、45 1-b. 図イ建-19~20、22、25~27、29~30、32、34~35、38~41、48 1-c. 図イ建-19~20、22、25~26、30~31、37、40~41、48 1-d. 図イ建-20、22~23、25~30、32、34~39、47 1-h. 図イ建-5(1/3)~(3/3)、14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20、22~23、25~41、48 1-f. 図イ建-19、25~41、45  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2																		
	耐竜巻 性能向上	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 1-j. 鉄扉補強 鉄扉補強材 鉄骨: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 他 1-l. 鋼板補強 鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 断熱材: 断熱材厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-p. 折板張替え補強(排気塔) 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 外壁下地材: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> 発泡性耐火被覆材: 厚さ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄扉及びシャッター交換 鉄扉鋼板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm シャッターレール部: <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> シャッタースラット部: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17、19~23、25~30、32~44、46 1-j. 図イ建-10~13、15~17 1-l. 図イ建-14~16、19~20、22、32、46 1-p. 図イ建-17、24、47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14、19~20、32~33、46 (3) 本体及び前室 1-k. 図イ建-9、11~12、14、16~17 1-o. 図イ建-17、20、23、47  (参考) 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建1																	

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。



変更前(令和2年3月27日付原規規発第2003279号にて認可)

表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(7/7)

主要な部材寸法及び材質(2/2)

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
1-e. 柱梁仕口部補強	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm スタッドボルト:径 <input type="text"/> mm (JIS B1198) あと施工アンカー: D13	
	既設	鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
1-f. 柱脚部溶接補強	新設	—	—
1-g. 耐火壁追設	新設	下地材: <input type="text"/> (JIS A6517) 鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 下地材: <input type="text"/>	
1-h. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 止水シート:厚さ <input type="text"/> mm	
1-i. 外壁サイディング補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/>	
1-j. 鉄扉補強	新設	鉄扉補強材 <input type="text"/>	
1-k. 鉄扉及びシャッター交換	新設	鋼材:板厚 <input type="text"/> mm (鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、シャッター両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッターの場合、スラット部を示す)	
1-l. 鋼板補強	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 下地材: <input type="text"/>	
1-m. 鋼板新設	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm	
1-n. 外壁更新	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/>	
1-o. 折板追設補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm	
1-p. 折板張替え補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)  
添説建2-II.1.6-1表~6-9表  
添付説明書-建2-付録2  
添説建3-II.1.4-1表  
添説建3-XI.3.8-1表  
添説建3-XI.4.7-1表

変更後

表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(7/7)

主要な部材寸法及び材質(2/2)

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
1-e. 柱梁仕口部補強	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm、 <input type="text"/> mm スタッドボルト:径 <input type="text"/> mm (JIS B1198) あと施工アンカー: D13	
	既設	鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
1-f. 柱脚部溶接補強	新設	—	—
1-g. 耐火壁追設	新設	下地材: <input type="text"/> (JIS A6517) 鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 下地材: <input type="text"/>	
1-h. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 止水シート:厚さ <input type="text"/> mm	
1-i. 外壁サイディング補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/>	
1-j. 鉄扉補強	新設	鉄扉補強材 <input type="text"/> <input type="text"/> [ <input type="text"/> 丸鋼から先端を角棒に加工。角棒の寸法許容差は JIS G 3191 を準用 ]	
1-k. 鉄扉及びシャッター交換	新設	鉄扉鋼板:板厚 <input type="text"/> mm シャッターレール部: <input type="text"/> シャッタースラット部:板厚 <input type="text"/> mm	
1-l. 鋼板補強	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm 下地材: <input type="text"/>	
1-m. 鋼板新設	新設	鋼板:板厚 <input type="text"/> mm	
1-n. 外壁更新	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/>	
1-o. 折板追設補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm	
1-p. 折板張替え補強	新設	<input type="text"/> :板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)  
添説建2-II.1.6-1表~6-9表  
添付説明書-建2-付録2  
添説建3-II.1.4-1表  
添説建3-XI.3.8-1表  
添説建3-XI.4.7-1表

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。なお、スラット材の明確化及び角棒に関する加工方法の記載の追加であり、適合性評価への影響はなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。



変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

表イ建-3 工場棟転換工場 建物の各部位の仕様表 (7/7)

建物名称	階	境界位置	部位	材質	主な寸法(mm) 厚、高	図番号	工事内容					
工場棟転換工場 工場棟	3階 外壁以外	ダクトスペースとファイルタ室の境界 (M通り、13-23間) (23通り、M-Q間)	火災区境界 漏水防護区境界	ラスモルタル (上部:1FLから9060h以上) 鉄筋(4基)			既設					
			火災区境界	ALC (下部:1FLから9060hまで)			既設					
			火災区境界	ラスモルタル (上部:1FLから9060h以上) ALC (下部:1FLから9060hまで)			既設					
			火災区境界 漏水防護区境界	RC 厚32、33(2基)			既設 新設					
			床	管理区境界 火災区境界 漏水防護区			RC	既設				
				外壁 第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護			サイディング(外側) 耐火被覆材(内側)	更新 新設				
			工場棟転換工場 工場前室	1階			原料倉庫(第1種管理区)と前室(第2種管理区)の境界 (Q通り) (13-14通り)	第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護	シャツタ(S5-70) 鉄筋(SD-69)		図イ建-9、図イ建-12 図イ建-9、図イ建-12	交換
								管理区境界 火災区境界 漏水防護区 F1電巻防護ライン	鉄筋(SD-1):次回以降申請 鉄筋(SD-2):次回以降申請 厚1			補強 新設 新設
								第2種管理区境界 火災区境界	鋼材 (転換工場本体側)			既設
								第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護	土間コンクリート 上層折板 下層折板			既設 既設 新設 既設

(注) 網掛けは他の部位と共有していることを示す。

86

変更後

表イ建-3 工場棟転換工場 建物の各部位の仕様表 (7/7)

建物名称	階	境界位置	部位	材質	主な寸法(mm) 厚、高	図番号	工事内容					
工場棟転換工場 工場棟	3階 外壁以外	ダクトスペースとファイルタ室の境界 (M通り、13-23間) (23通り、M-Q間)	火災区境界 漏水防護区境界	ラスモルタル (上部:1FLから9060h以上) 鉄筋(4基)			既設					
			火災区境界	ALC (下部:1FLから9060hまで)			既設					
			火災区境界	ラスモルタル (上部:1FLから9060h以上) ALC (下部:1FLから9060hまで)			既設					
			火災区境界 漏水防護区境界	RC 厚32、33(2基)			既設 新設					
			床	管理区境界 火災区境界 漏水防護区			RC	既設				
				外壁 第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護			サイディング(外側) 耐火被覆材(内側)	更新 新設				
			工場棟転換工場 工場前室	1階			原料倉庫(第1種管理区)と前室(第2種管理区)の境界 (Q通り) (13-14通り)	第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護	シャツタ(S5-70) 鉄筋(SD-69)		図イ建-9、図イ建-12 図イ建-9、図イ建-12	交換
								管理区境界 火災区境界 漏水防護区 F1電巻防護ライン	鉄筋(SD-1):次回以降申請 鉄筋(SD-2):次回以降申請 厚1			補強 新設 新設
								第2種管理区境界 火災区境界	鋼材 (転換工場本体側)			既設
								第2種管理区境界 火災区境界 F1電巻防護	土間コンクリート 上層折板 下層折板			既設 既設 新設 既設

(注) 網掛けは他の部位と共有していることを示す。

86

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。なお、スラット材の明確化であり、適合性評価への影響はなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。



変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

変更後

変更理由

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(2/3)

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(2/3)

耐震性能及び耐竜巻性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様

耐震性能及び耐竜巻性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> 新設杭: <input type="text"/> mm (SC 杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> 、D22、D25 <input type="text"/> 、 D29 <input type="text"/> 鋼材: 板厚 <input type="text"/> mm ( <input type="text"/> (鉄扉、シャッタ)) (鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッタの場合、 シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場 合、扉の板材、シャッタの場合、スラット部を示す) 板厚 <input type="text"/> mm ( <input type="text"/> (ダンバ)) 3-b. 壁増打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> シアコネクター: D13 <input type="text"/> 3-c. パットレス新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> 、D19、 D22 <input type="text"/> 3-d. スラブ新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13、D16 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/>	(1) 本体 3-a. 図ホ建-1~2、4 ~5、11 3-b. 図ホ建-4、8~10、 12 3-c. 図ホ建-4~5、7 ~8、10、12 3-d. 図ホ建-4~5、8 ~9、12~13
	(2) 本体及び前室 3-e. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> 他 前室鉄骨: <input type="text"/> 他	(2) 本体及び前室 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 3-e. 図ホ建-6~10、15 (参考) 添付説明書-建 2-IV
耐竜巻 性能向上	(1) 本体及び前室 3-f. 鉄扉及びシャッタ補強 鉄扉補強材 鉄骨: <input type="text"/> 他 シャッタ補強材 断面寸法: <input type="text"/> mm <input type="text"/> 3-h. 折板張替え補強 折板: 板厚 <input type="text"/> mm <input type="text"/>  (2) 前室 3-g. 外壁更新 外壁: サイディング <input type="text"/> 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/> 他 発泡性耐火被覆材: 厚さ <input type="text"/> mm	(1) 本体及び前室 3-f. 図イ建-9、12~13 図ホ建-1~2 3-h. 図ホ建-2、6(前室) ~7(本体)、15  (2) 前室 3-g. 図ホ建-1~2、4、 13 (参考) 図イ建-1-1(1/4)、(3/4) ~(4/4) 添付説明書-建 3-IV

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> 新設杭: <input type="text"/> mm (SC 杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> 、D22、D25 <input type="text"/> 、 D29 <input type="text"/> <b>鉄扉鋼板: 板厚 <input type="text"/>mm</b> <b>シャッタレール部: <input type="text"/></b> <b>シャッタスラット部: 板厚 <input type="text"/>mm (HC)</b> 板厚 <input type="text"/> mm ( <input type="text"/> (ダンバ)) 3-b. 壁増打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> シアコネクター: D13 <input type="text"/> 3-c. パットレス新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> 、D19、 D22 <input type="text"/> 3-d. スラブ新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13、D16 <input type="text"/> あと施工アンカー: D16 <input type="text"/>	(1) 本体 3-a. 図ホ建-1~2、4 ~5、11 3-b. 図ホ建-4、8~10、 12 3-c. 図ホ建-4~5、7 ~8、10、12 3-d. 図ホ建-4~5、8 ~9、12~13
	(2) 本体及び前室 3-e. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> 他 前室鉄骨: <input type="text"/> 他	(2) 本体及び前室 図イ建-1-1(1/4)~(4/4) 3-e. 図ホ建-6~10、15 (参考) 添付説明書-建 2-IV
耐竜巻 性能向上	(1) 本体及び前室 3-f. 鉄扉及びシャッタ補強 鉄扉補強材 鉄骨: <input type="text"/> 他 シャッタ補強材 断面寸法: <input type="text"/> mm <input type="text"/> 3-h. 折板張替え補強 折板: 板厚 <input type="text"/> mm <input type="text"/>  (2) 前室 3-g. 外壁更新 外壁: サイディング <input type="text"/> 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材: <input type="text"/> 他 発泡性耐火被覆材: 厚さ <input type="text"/> mm	(1) 本体及び前室 3-f. 図イ建-9、12~13 図ホ建-1~2 3-h. 図ホ建-2、6(前室) ~7(本体)、15  (2) 前室 3-g. 図ホ建-1~2、4、 13 (参考) 図イ建-1-1(1/4)、(3/4) ~(4/4) 添付説明書-建 3-IV

材料に係る記載内容を適正化するため。なお、スラット材の明確化であり、適合性評価への影響はなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。



変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)

主要な部材寸法及び材質

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
3-a. 壁新設補強	新設	新設杭： 鉄筋：D13 鉄筋：D22、D25 鉄筋：D29 鋼材：板厚 mm (鋼材は、鉄屋の場合、扉の板材、シャッタの場合、シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄屋の場合、扉の板材、シャッタの場合、スラット部を示す) 板厚 mm	
3-b. 壁増打ち補強	新設	鉄筋：D13 あと施工アンカー：D16 シアコネクター：D13	
3-c. パットレス新設補強	新設	鉄筋：D16 あと施工アンカー：D16 あと施工アンカー：D19及びD22	
3-d. スラブ新設補強	新設	鉄筋：D13及びD16 あと施工アンカー：D16	
3-e. 屋根面鉄骨補強	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
	既設	鋼管： 鋼管： 鋼管： 鋼管：	
3-f. 鉄扉及びシャッタ補強	新設	鉄扉補強材 シャッタ補強材 JIS H4100に定める 断面寸法： mm	
3-g. 外壁更新(前室)	新設	：板厚 mm 外壁下地材： 横補剛材： あと施工アンカー：D16	
	既設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
3-h. 折板張替え補強	新設	：板厚 mm	

(参考)

添説建2-IV.1.6-10表~6-16表

添説建3-IV.1.4-1表

添説建3-XI.3.8-1表

転換工場との間のエキスパンションジョイント①は表イ建-2に、成型工場との間のエキスパンションジョイント⑧は表ハ建-2に、容器管理棟との間のエキスパンションジョイント⑨は表ヘ建-2-2に示す。

変更後

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)

主要な部材寸法及び材質

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
3-a. 壁新設補強	新設	新設杭： 鉄筋：D13 鉄筋：D22、D25 鉄筋：D29 鉄屋鋼板：板厚 mm シャッタレール部： シャッタスラット部：板厚 mm 板厚 mm (ダンパ)	
3-b. 壁増打ち補強	新設	鉄筋：D13 あと施工アンカー：D16 シアコネクター：D13	
3-c. パットレス新設補強	新設	鉄筋：D16 あと施工アンカー：D16 あと施工アンカー：D19及びD22	
3-d. スラブ新設補強	新設	鉄筋：D13及びD16 あと施工アンカー：D16	
3-e. 屋根面鉄骨補強	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
	既設	鋼管： 鋼管： 鋼管： 鋼管：	
3-f. 鉄扉及びシャッタ補強	新設	鉄扉補強材 (丸鋼から先端を角棒に加工。角棒の寸法許容差はJIS G 3191を準用) シャッタ補強材 JIS H4100に定める 断面寸法： mm	
3-g. 外壁更新(前室)	新設	：板厚 mm 外壁下地材： 横補剛材： あと施工アンカー：D16	
	既設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
3-h. 折板張替え補強	新設	：板厚 mm	

(参考)

添説建2-IV.1.6-10表~6-16表

添説建3-IV.1.4-1表

添説建3-XI.3.8-1表

転換工場との間のエキスパンションジョイント①は表イ建-2に、成型工場との間のエキスパンションジョイント⑧は表ハ建-2に、容器管理棟との間のエキスパンションジョイント⑨は表ヘ建-2-2に示す。

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。なお、スラット材の明確化及び角棒に関する加工方法の記載の追加であり、適合性評価への影響はなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。